

実行委員会（実行委員の活動）とは

磯部小学校PTA

1 実行委員会の目的

役員・各委員会代表・学校代表で、PTA事業の進捗状況共有と協議・学校行事の協力・他団体活動への参加協力などを話し合い、目的を達成する為に、実行委員として活動する組織です。

2 実行委員会メンバー

役員会

会長 1名
副会長 4名
総務長 1名
総務 4名
会計 2名
監査 2名

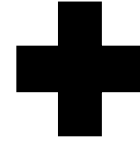


各委員会

学級委員会
委員長 1名
副委員長 2名

地区委員会
委員長 1名
副委員長 2名

文化厚生委員会
委員長 1名
副委員長 2名



学校

校長
教頭
教務主任



実行委員会

※上記の役職に任命された方は、実行委員としても活動をお願いしています。

3 実行委員の活動紹介

- ・各委員会の進捗状況共有と協議（PTA事業内容・購入の承認など）
- ・学校行事の協力と情報共有（運動会協力・校内行事日程共有など）
- ・PTA活動・他団体活動の参加協力
（夏祭りブース・講演会参加・お手伝いなど）

※Zoomアプリを使ったWeb会議を県P連で推奨している事から磯部小PTAでも役員会・実行委員会から導入していく事に決定し、準備を進めています。

4 実行委員としての心得

1 報・連・相(報告・連絡・相談)の徹底

報連相の目的は、組織において情報共有の促進に繋がる。
報連相に大切なのは、「言ったか、言わなかったか」ではなく「相手に伝わったかどうか」

2 相手の事を理解する配慮

PTA会員(自分を含めて)は、多種多様な職種や家庭環境があり、PTA活動に対して遅刻・欠席する場合がある事を理解する。

その事に対して、問い詰めたり、否定する様な発言をしない。

PTA活動は、仕事・家庭をないがしろにしてまで行うものではない事を理解する。

3 悪い情報こそ直ちに伝える！

悪い情報は改善のチャンスとして、前向きに捉えよう。
学校側も、備品などが壊れたら、すぐに報告する事。
情報を受け取る側も、悪い情報を伝え聞いても叱らない。
(怒ったり、叱ったりしても問題解決しないので、まずは対応策を考えよう！)
「情報を伝えてくれてありがとう」「ケガはなかったか」などの相手を想う心の余裕を持とう。

4 失敗を恐れず、チャレンジする(守りの運営から攻めの運営へ！)

PTAは、受動的(他に動かされるさま)が多いが、能動的(自分から他に働きかけるさま)へ変えていく。
これからは少子化時代に突入する為、会費は減収し、PTA会員も減少していく状況に対応していくには失敗を恐れず、チャレンジしてPTAの運営を見直していく必要がある。

ご視聴ありがとうございました。

作成日 令和3年11月